

【KSKQ】 2025 年 9 月号 No.239

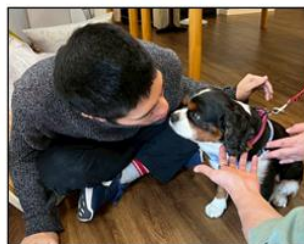


あいえるらくがき帳

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・5・6・8の日)発行



5月29日
セラピードッグ



ウィルの近くにある『けあ工房 夢いろ』様のセラピードッグを、ウィルにお招きしました。大小様々なワンちゃんが来てくれましたが、どの子もとても大人しく、メンバーもスタッフも、言葉通り癒されました。張り切って150枚以上の写真を撮ったスタッフもいたとか…。次に会う時が、今から楽しみです。



○障害者・介助者で社会を変えられる(障害者のついでと)

——7月のアピ活の様子を紹介します

○大切にしていることを教えて！(支援？介助？)

——各部署のリーダー職に話を聞いていきます

○療育手帳～判定基準の全国統一を目指して～(制度のア・レ・コ・レ)

——療育手帳の名称や判定基準が統一されることについて紹介します



あいえる協会
公式サイトはこちら

障害者のついでと

障害者・介助者で社会を変えられる
～障害者施設で19名殺された事件から9年～

あいえる協会では、2016年7月26日未明に起きた、神奈川県相模原にある障害者施設で起きた殺傷事件を風化させないために、2018年～毎月1度に近くある長居公園で『相模原事件を風化させないアピール活動』を行っています。私は、毎年7月になれば、あの事件のことが鮮明に蘇ります。

事件が起きた7月には『やまゆりポスト』を設置し、亡くなられた方へのメッセージやこれからの想いを書いて投函する他、ゲスト迎えての講演会を実施しています。

今年は、同時期に神戸でアピール活動している『リメンバー7.26神戸アクション』の石地かおるさんを迎えて、講演と7月のアピール活動を行いました。



リメンバー7.26
神戸アクションの
Facebook

石地さんは、障害者当事者として、あの事件のことをどの様に捉えて、どんな想いで街頭アピールをしているかを語ってくれました。後日参加者に聞くと、『犠牲者は、3度殺された』という言葉が、特に印象に残ったらしいです。これは、
一度目：施設に收容され、地域にはいない存在にされたこと。
二度目：事件によって殺害されたこと。
三度目：多くの犠牲者は、今も名前が公表されず、存在を隠されていること。

という意味だそうです。

石地さんは、少しでも社会を変えるために街頭アピールをし、マスコミにも多く取り上げられているが、一緒に行動している知的障害者にはインタビューしてくれないと、もどかしさを感じているそうです。また、事件報道も犯人や犯行のことばかりで、被害者のことは報道していない。コメンテーターも学者ばかりで、障害者を排除していることが、ありありと感じられると語っていました。

障害者が、街頭で、この事件のことや、介助者と共同して生活していることをアピールする意味の大切さを、改めて感じました。

(文責：まあぼう)



支援？介助？

大切にしていることを教えて！
～リーダーに聞いてみた～

今年度は、各部署に配属されている「リーダー職」の方々に、支援についての想いや大切にしていることを、順番に聞いていきます。リーダーは、管理者・主任と共に現場をまとめる役割を担っています。第二回目は、グループホーム・あいえるの脇田さんです！脇田さんは、高次脳機能障害の入居者さんの担当をされてます。今回は、Kさんとの日常を振り返ってもらいました。

※Kさん：交通事故により身体障害、高次脳機能障害となり、入院していた病院から移行された方。気管切開により、口頭でのコミュニケーションが難しく、失語症から文字盤を使うことも難しいため、お互いに伝えあう方法を模索中。脳の病気や損傷によって過度に感情が出てしまう。

～Kさんと私の日常～

Kさんの担当になり、丸3年が経ちました。現在Kさんと私は、一定の信頼関係ができていますと勝手に思っています(笑)。そんなKさんと私の日常を、少し書かせて頂きます。

Kさんの介助は、お笑い好きなのでなるべく面白くやるという事を意識しています。例えば、洗濯を全て取り入れ、次はたたむというタイミングで、その前に掃除機を出してほしい、窓も開けてほしいといった指示が出た時に「手は2本しか無いのに洗濯たたみながら掃除機出せなんて、出来ひんに決まってるやん。そんな無茶言うわ～」と笑いながら、おどけた言いまわしでイライラを反らし、反論で軽い問題提起をする事が、今思うと、とても大切だったと感じています。こんな時は、洗濯をたたむ前に、窓を開け、掃除機を出す事で、後から指示があった時に「もうやりましたよ」と一拍早くやってしまうという事が有効でした。Kさんは、介助のやり忘れが心配で指示を出します。私が「一旦任せて、やらせてください」と言える位に介助をおぼえているからこそ、このようなやり取りができ、どんどん良い関係になっていったと思います。

ある時、Kさんのお母様から、障害発症前のKさんは、怒る事などほとんど無く、穏やかな性格だったと伺いました。本来怒るのが苦手な人が、障害が原因で怒るのは、辛い事だと感じました。以前のKさんが怒りたくない人だったのなら、そっちのKさんでいられるように支援したいと思いました。

～できることは自分で～

今年の3月、自分でできる事は自分でやらうように、入浴介助を見直しました。ヘルパーがする事が減った分、介助手順が減り、繋ぎ合わせが低減された事で、新しい入浴介助者を3名増やす事ができました。約半年たった現在も、3名の方はしっかり入ってくださっています。私が嬉しかったのは、決してすんなりではないですが、Kさんが新しい介助に納得してくれた事でした。当初はシャワーの栓をひねり、湯を出し、温度調節をする事はヘルパーの仕事でした。しかし夏になり、Kさんは自分で栓をひねり、湯に手をかざし、温度調節までされていました。できないと思っていた事は、できる事だったので。

次号に続く！



(文責：脇田)

制度のア・レ・コ・レ

療育手帳

～判定基準の全国統一を目指して～

ご存じの方も多いと思いますが、障害のある方の証明の一つとして障害者手帳があり、身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳の3種に分かれています。今回は、療育手帳についてです。

療育手帳は、身体障害者手帳や精神保健福祉手帳と大きく異なり、全国一律ではなく、各自治体によって判定や名称等も違うというものになっています。

この間、この課題について2025年6月26日、国の社会保障審議会障害者部会で療育手帳の基準を全国統一に向けて進めていくということが議論されました。

でも、なぜ、療育手帳だけは統一されていないのでしょうか？それは、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳は「身体障害者福祉法」と「精神保健福祉法」に基づいているので、判定基準が定められており全国同一基準となっていますが、療育手帳は法的根拠がないからです。

そのため、各都道府県や政令市は自治事務として運用せざるを得ない状況となっており、基準や判定方法にばらつきがあり、手帳の名称や区分が異なっています。例えば名称では、東京都や横浜市が「愛の手帳」、青森県や名古屋市は「愛護手帳」とされており、区分については大阪市は「A, B1, B2」ですが、東京都では「1度、2度、3度、4度」となっています。

そのため、他府県、他市へ転居した場合、前の自治体と判定が異なる可能性も生じてしまっていることから、この課題については、これまでも指摘がなされています。このような地域格差が生じないように、全国的な統一を目指していくため、「療育手帳の交付判定のための知的機能／適応行動の評価尺度」(ABIT-CV)という評価ツールを、2026年度から、いくつかの自治体でモデル的に試みていくことになっています。2025年度内には専門検討会を立ち上げ、判定基準・名称などの統一化案を作り、数年後には療育手帳の判定がようやく統一されていく流れになるのではないのでしょうか。

いずれにせよ、自治体が変わる度に判定が変わるのは、本人にとっては不利益を被る可能性があるため、国及び各自治体においても、そのようなことのないよう、制度設計を進めてもらいたいと考えます。



(文責：吉田)

障害者手帳

お知らせコーナー

みんなのぬくぬく～祝 10 周年～

■ 次回ぬくぬくスケジュール ■

9 月 17 日 10 月 15 日
一番人気はミックスジュース！



障害者福祉の動向

7 月 17 日…最高裁、65 歳問題の裁判を
東京高裁に差し戻す判決
7 月 24 日…日本精神衛生会、53 年に優生施策を
促す陳情を国へ行ったことを謝罪
7 月 26 日…相模原事件から 9 年
7 月 28 日…こども家庭庁、三階層の障害児支援
研修体系を 27 年度以降実施
7 月 31 日…くわのこの会、障害児・者を見守る
支援体制を厚労省などに要望
8 月 27・28 日…障大連の対府交渉

★ヘルパーさん大募集★

時給：1350 円～

勤務地：住吉区・西成区の一部

勤務日：週 1 日～OK!※応相談！

連絡先：ヘルプセンター・ホップ
住吉区殿辻 2-2-27 野村ビル 201 号室
TEL:06-6676-2010

M さんのアナザースカイ

M さんの浜松旅行の様子を紹介します



住吉区地域自立支援協議会

■ 障がい者の暮らし何でも相談 ■

日程：9 月 24 日(水) 11 時～14 時 住吉区役所にて
10 月 22 日(水) 11 時～14 時 住吉区役所にて



編集人・発行人

■ 編集人 ■

社会福祉法人あいえる協会

〒558-0042 大阪市住吉区殿辻 2-2-27 野村ビル 201 号室

TEL:06-6676-2010 FAX:06-6676-2011

郵便振替口座 00960-5-137458 年間購読料 600 円(定価 100 円)

■ 発行人 ■

関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4F

社会福祉法人あいえる協会

法人本部

ヘルプセンター・ホップ

自立生活センター・まいど

グループホーム・あいえる

グループホームほんわか

ウィル

ライフ・ネットワーク

ピア・エンジン(分所)